

10月の安全指導

「避難所の生活、役割について」

地震や水害などの災害が起こった際に、身の安全を確保するために避難所へ避難することがあります。避難所がどのような役割を持っているのかを理解しておきましょう。

【1】避難所と避難場所の違いとは？

避難所・・・災害による被害を受けた人または被害を受ける可能性がある人が、一定の期間避難生活をする場所のこと

避難場所・・・災害によって身の危険が迫っているときに、一時的に避難する場所のこと。

どちらも見ず知らずの人たちと集団生活を行うことを想像すると

様々な課題が予想されます。(食糧・生活空間の確保・トイレ等衛生面についてなど)集団生活を営む上で、避難所は多くの人が共に生活する場であり、個々のニーズや生活スタイルに配慮することが求められます。お互い心配りをしながら生活できるように心がけましょう。

避難場所などのマーク



【2】避難するような状況に備えて取り組むこと

【具体的な備え】

- | |
|--|
| ①窓や雨戸の補強 |
| ②食料品の確保（最低3日分の飲料水9Lと栄養バランスを考えて1人1週間分の食品備蓄） |
| ③避難経路の確認（家族での安否確認の方法や集合場所を話し合っておく） |



【避難所内では自立した生活をする】

見ず知らずの人と同じ空間（体育館）等で不自由な生活を送ることになります。お互いを思いやり心配りしながら生活をしましょう。また、中学生として周りに貢献できることを考えてみましょう。

【松江一中近辺の避難施設を知っておこう】

・東小松川小・松江小・松江六中・西一之江小・船堀二小・船堀小・葛西二中・松江一中

※江戸川区のホームページで地図が閲覧できます。